



2023年2月7日

マツダ、「NEDO 省エネルギー技術開発賞」を受賞 —自動車用モーター技術の開発で「理事長賞」—

マツダ株式会社(以下、マツダ)は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(以下、NEDO)主催の2022年度「省エネルギー技術開発賞」において、「理事長賞」を受賞しました。

NEDOは、経済成長と両立する持続可能な省エネルギーの実現のため、民間企業などから省エネルギーに寄与する技術開発テーマを公募して開発費の一部を助成する「戦略的省エネルギー技術革新プログラム」(2012年度～2024年度)を実施しています。「省エネルギー技術開発賞」は、省エネルギーに寄与する優れた成果をあげた事業者を表彰するもので、このうち最優良事業者には「理事長賞」が授与されます。

今回の受賞対象および概要は以下の通りです。

■2022年度「NEDO 省エネルギー技術開発賞」理事長賞

対象：自動車用モーター可変界磁技術の開発

概要：従来は一定であった界磁(磁石磁力)の大きさを運転条件に応じて変化させ、各運転条件に適したモーター性能を確保することにより、モーターの発電量向上を実現した。

本技術の導入により、モーター実用域の効率改善と減速エネルギー回生量の増加が可能になり、高効率内燃機関との組み合わせで、従来のモーターを用いたハイブリッド車に対して15%の燃費向上(WLTCモード*燃料消費率)を見込んでいます。今後は、プラグインハイブリッド車や電気自動車にも当該技術を適用して、モーター駆動による走行距離を延長しつつ、使用エネルギーの効率を改善することにより、環境負荷低減を図ります。

マツダは、今後も心豊かな人・社会の実現を使命と捉え、クルマの持つ価値により、人の心を元気にすることを追求し続けていきます。

* 市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な排出ガス・燃費試験法。

【ご参考】

■NEDO 公式サイト <https://www.nedo.go.jp/index.html>

■NEDO ニュースリリース [「NEDO 省エネルギー技術開発賞」として11テーマを表彰](#)

以上